

「ワンご」ドッグフードレシピのシェアから始まるドッグフード革命!!

Dog Food Revolution Starting with “Wango” Dog Food Recipe Sharing!

市川 賢仁 Kenji Ichikawa

デジタルハリウッド大学大学院 修士

趣旨と背景

著者自身が犬を飼って6年目の愛犬家の一人であるが、何気なく与えていた「ドッグフード」に疑問を感じるようになってきた。ドッグフードの安全面もさることながら、簡単に計量して与えることのできる完全栄養食品であるドッグフードは、夫婦共働きの我が家にとって便利ではあるものの、非常に機械的な行動であり、フードという観点から安心で安全、幸福なフードタイムの創出を目的に愛犬との関係性を見直していきなさいかを考えた。

一般社団法人ペットフード協会調べによると、我が国の犬の飼育頭数は年々減少しているものの、1ヶ月あたりのドッグフードの支出総額は増えている。つまりこれは、愛犬1頭にかかるフードの支出が増えていることを意味しており、愛犬の長寿化により多種多様なフード類が出現していることと、お金をかけてでも長く一緒にいたいという愛犬家の気持ちの表れと思われる。また、ペット総研「ペットフード選びの基準」によると「Q.日本国内で流通しているペットフードの安全性は信頼できますか?」という問いに対して約40%の人が信頼できないと回答している。ペットフード自体は便利ではあるものの、ペットフードは成分が分かり辛い為、購入者は安全面に不安を感じていると考えられる。

課題解決策

そこで愛犬家の、愛犬家による、愛犬のための、ドッグフードレシピ共有サイト「ワンご」の立ち上げを考えた。サービス内容は、愛犬家が他の愛犬家の投稿したドッグフードレシピを検索・閲覧して実際に調理して愛犬の様子をみて、投稿者にレシピ評価をフィードバックするものである。投稿者側も制限がなく、自身の愛犬の為に作ったドッグフードを「ワンご」を通して、共有してもらうことができる。なお、レシピについてはわかりやすさを前提に動画とテキストで提供することを想定している。

特長

犬種・年齢・性別のみならず、アレルギーや病気といった検索項目も準備し、愛犬家のニーズに沿ったレシピを提供する。また、投稿者側に関しては閲覧者からのフィードバックによってクラスアップするマイスター制度を準備し、継続性を促す仕掛けを準備する。さらに人気のあるレシピについては、実際の調理済みキットとして販売する計画である。

今後の展開

「ワンご」はメディアという観点から、エンターテインメントという要素も踏まえ、料理番組等の展開及び他媒体への展開を考えている。また、データビジネス的要素も踏まえ、BtoB向けのマーケティングツールとしての提供も検討している。昨今の「働き方改革」の流れを受けて、プライベートタイムの充実がますます図られていくものと思われる。それは愛犬家にとっては愛犬と過ごす時間が増えることを意味し、「ワンご」を通じて目指す「安心で安全、そしてハッピーなフードライフの実現」は、社会的にも有意義な取り組みになるものと考えている。

「ワンご」ロゴ



ワンご

「ワンご」サイト画面イメージ



